

平成19年度研究班、活動の経緯 (2)

- 研究班発足
 - 1) CRO(医薬品開発業務受託機関)に委託し、平成18年度研究班から厚生労働省が貸与を受けた調査票をもとに解析のベースとなるデータベース作成
 - 2) データベースに基づき、疫学・小児科学の専門家が中心となり解析
 - 3) 報告書作成
- 第1回班会議
- 第2回班会議
- 第3回班会議
- 第4回班会議
- 第5回班会議
- 第6回班会議
- 第7回班会議

平成19年度研究班、活動の経緯 (3)

主要な検討・実施項目

- タミフル使用と臨床症状、特に異常行動との因果関係解明を主要検討項目とする。
- 事例調査票は解析対象としない。
- 医師調査票の写し、および患者家族調査票の写しを担当医に送付し、未記入項目等についての判断を仰ぐこととした。
 - 追加調査: 5,313症例中、返答4,774症例 (89.9%)
- 異常行動の自由記載欄については、疫学グループが薬剤名をマスキングし、その後、小児科グループが精査し、異常行動に合致するか、大分類は正しいかをチェックすることとした。